

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	大田 美和		
NAME	Miwa Ota		

1. 研究課題

（和文）歌人近藤芳美と作曲家尹伊桑のポストコロニアルな出会い

（英文）Post-colonial Meeting of Yoshimi Kondo, a Japanese Poet, and Isang Yun, a Korean Composer

2. 研究期間

2年間（2017～2018年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）2017年度は、韓国、ドイツ、日本における尹伊桑生誕百周年記念のコンサートや展示やシンポジウムに参加して資料収集と調査を行い、国際尹伊桑協会の会長ウォルター＝ヴォルフガング・シュパーラー氏にインタビューを行った。日本現代詩歌文学館（岩手県北上市）において近藤芳美寄贈図書のうち、朝鮮半島関連資料とバウハウスなどの建築関連資料の調査を行った。

2018年度は、韓国の扶余、慶州など近藤芳美の古代朝鮮への関心を考える上で重要な地域の史跡や博物館で訪問調査を行った。国境を越えた文化活動について考察するために、浅川伯教・巧兄弟資料館（山梨県北杜市）で訪問調査を行い、浅川巧関連資料の収集も行った。高麗美術館（京都）において、日朝・日韓関連の基本図書の調査と資料収集も行った。「沖縄戦の図」とケーテ・コルヴィッツとルオーの作品を展示している佐喜眞美術館で佐喜眞信夫館長と懇談することによって、近藤芳美にとっての近代日本と「植民地」とヨーロッパの関係について考察を深めることができた。

本研究の中間発表として、2017年11月27日に韓国・大田の培材大学校において「尹伊桑とアジア共同体」という講義を行った。また、論考「アジアへの旅の始まりールアンパバーンから八王子、テジョンへ」（『詩と思想』2018年5月号）を発表した。今後は、将来的な書籍出版をめざして、論文を執筆し、発表する予定。

（英文）My study in 2017 and 2018 can be divided into two: Collecting books and materials, and doing a research trip at home and abroad. First, I collected books and audio visual materials about two artists, historical and cultural relationship between Japan and Korea, and basic books of Korean studies. Second, I did a research trip in Korea, Germany, and Japan. I also did a research trip to the Museum of Contemporary Japanese Poetry in Kitakami, Iwate and explored donated books by Yoshimi Kondo, especially about Korea, Germany, and Japan.

As an interim report of the study, I gave a lecture titled Isang Yun and Asian Communities in Pai Chai University, Korea in 2017. And I published a discussion titled the Beginning of the Journey to Asia: From Luang Prabang to Hachioji and Daejeon in 2018.